

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 5年 2月 28日

事業所名 ぐりーていんぐ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	部屋によって用途を分けて支援している。	備品の保管場所などを決定し、利用者にも理解を求めている。
	2	職員の配置数は適切である	7	0	支援内容や利用人数に応じて増員などの手配を行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0	活動スペースはバリアフリー化している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	定期的に会議を開催し、認識を共有している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	送迎時等に保護者のニーズに常に注視している	保護者のニーズに関して、さらに反映していきけるように取り組む
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	事業所内にて掲示している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		今後そのような機会を設けていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	3	定期的に外部研修に参加している	非正職員にも積極的に参加してもらえるように促していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	送迎時にその日の様子を伝え情報の共有をしている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	グループ内で統一されたアセスメントシートを使用している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	定期ミーティングで職員を考案している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	グループ内で意見交換を行いながら必要に応じて変更している	保護者からのリスニングを行い取り入れていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	指導内容に関しては朝礼等にて共有	職員が集まる中で皆がさらに発言できる環境を心掛ける
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	終礼時に発表していく事で共有している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	日々の支援の内容をケース記録のみならず終礼時にも共有している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	2	定期的な見直しをおこなっている	必要に応じて短期間内においてもミーティング内で見直しを行う
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	2			

関係機関 や保護者との 連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	3	普段から担当を決める事で円滑に議題提供を行う	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	3		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	7		定期的な研修に参加している
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3	就学に向けての課題を共有している。	時間を合わせながら適宜ケース会議を行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	0		
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4	定期的な研修に参加している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	3	公園などで地域の児童と交流する機会を設けている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	7		今後参加していけるよう情報収集をしていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0		
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	5		家族支援プログラムの勉強会もさらに行い活用していく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	見学时などに伝えている	随時質問を受け付ける体制を整えていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	2	研修の内容に沿った内容や正しい知識を必要に応じてアドバイスしている	職員の知識向上も引き続き行う
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7		今後、保護者の交流できる環境を今後創造していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	連絡体制の確立をおこなっている	非常勤から責任者まで共有して対応できるようにしていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0		定期的に発行しているがさらに興味付けしていけるような内容を精査していく
	35	個人情報に十分注意している	7	0	鍵付きの書庫にて保管し鍵は限られた人間のみの所有にしている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	絵カードなど視覚アプローチを心掛けている	コミュニケーションツールの増大を目指す
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7		地域の方に向けた取り組みを行い、周知していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	定期的に会議や外部研修にて勉強会を行っている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	毎月の行事にも取り入れている	多種機関との連携ができるような体制を目指していく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	定期的に会議議題に挙げて取り組んでいる	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	万が一に必要な可能性のある児童がいる場合には、説明と同意を行い必要最低限で行う。	身体拘束について常に周知していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0		保護者の申告によるものでも、根拠を明示して安全に食事ができる環境を考慮し続ける
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	毎日の必要書類とし、全職員で共有している	